

令和7年度

社会福祉法人 景福会

事業計画書

令和7年3月8日

# 基本理念

## 「和 顔 愛 語」

おだやかな笑顔(和顔)と、思いやりのある話し方(愛語)で人に接します。

# 基本方針

「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、以下を実践していきます。

1. 利用者様の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスを提供します。
2. 利用者様のプライバシー・個人情報を保護し、信頼性の高いサービスを提供します。
3. 社会福祉法人として良質かつ安全安心な福祉サービスを継続的に実施できるようにサービス品質の向上に向けた取り組みを行います。
4. 地域の様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図り公益的取組みを進めていきます。
5. 良質な福祉人材の確保、福祉の仕事の啓発のための情報発信、福祉教育に取り組めます。

## 認知症介護理念

苛立ちや不安、不穏感が高まらないよう配慮します。

目線を合わせ、笑顔で会話をし、なじみの関係を作る努力をします。

束縛や禁止のない日常生活を過ごしていただき、そして自由を大切にするための努力をします。

# 令和7年度事業方針

今年度は介護報酬改定の 2 年目となり、改定の目玉である入所系施設の「医療機関との連携強化(緊急時・感染症発生時)」は、(医)南溟会を中心とし複数の協力医療機関と連携をさらに強化、「生産性向上(業務改善)」への取り組みは、発足した委員会を中心にまずは身近な改善から実施し、ICT 導入による業務効率化へと進めていく必要があります。

また、現下の収支状況は、特養の稼働率の減少により、介護報酬改定による増収分でカバーできず、収益は現状維持。支出は一昨年からの物価高騰により増加基調が続いています。こうした環境の中、令和 7 年度は以下を注力していきます。

## 利用者増加

特養は協力医療機関と連携会議等への参加により協力関係を構築し、医療機関からの紹介数の増加を図っていきます。

在宅事業はケアマネ・生活相談員による居宅事業所・地域包括への営業を強化し、利用者のニーズにあったサービスを構築し、利用者の定着および利用回数の増加を図ります。

法人内各事業の稼働状況・目標達成状況の情報共有を行うための営業部門に携わる職員による月例会議を実施していきます。

## 人 事

### (1) 職員の定着対策

- ① 従来、介護職員に限定した能力評価を他職種に広げ目標面接を実施。個人のスキルや目標を意識させながら仕事にやりがいを持たせていきます。
- ② 次世代リーダー育成を図るための研修を外部委託して、組織の強化・離職の防止につなげていきます。
- ③ 職場環境改善に充当できる処遇改善補助金(令和 6 年度補正予算案閣議決定)を利用し、職員の負担軽減等の方策を検討していきます。

### (2) 求人对策

求人環境が悪化する中、4 月から中国の技能実習生 3 名の受入を開始します。今後も介護人材の一部を外国人の技能実習生等含めて計画していきます。

また、高等学校訪問、各種団体主催の福祉系求人面談会に積極的に参加していくとともに、あらゆる媒体を使った求人も実施していきたいと思えます。

## 経 費

- (1)業務改善による効率化を推進し、すべての行事予算を見直し、無駄を省きスリム化していきます。
- (2)設備関係は引き続き予算を見ながら 2～3 年かけて以下を計画していきます。  
唐孔雀園では①照明の LED 化、②トイレ排水管更新③デイ屋上防水工事  
桜花台園では水道管更新(漏水箇所が特定できず、全面的に改修)

## 地域貢献

- (1)地域支援プロジェクト  
(医)南溟会と連携し、青峰・高良内・東国分地区のまちづくり振興会とコミュニケーションをとりながら法人としてできる地域福祉に貢献していきます。
- (2)ライフレスキュー事業への参加  
久留米連絡会に所属していますが、相談対応やボランティアの派遣まで至ってません。  
今年度はボランティア派遣等、できるものから参加していきます
- (3)災害時のための支援体制  
桜花台園は災害時福祉避難所になっています。地域との連携を図り具体的な体制等整備をしていきます。

## 「新しい認知症観」について

昨年 12 月 3 日「認知症施策推進基本計画」が閣議決定されました。

その中で認知症の人本人を尊重した「新しい認知症観」が定義されました。

- 1. 誰もが認知症になり得ることを前提に、国民一人一人が自分ごととして理解する。
- 2. 個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間と共に、希望を持って自分らしく暮らすことができる。

職員が「新しい認知症観」の理解を深め、認知症の人本人の声、意思を尊重して向き合うことができるように研修等を実施していきます。

## 各事業の基本方針等について

### ■唐 孔 雀 園

#### ○基 本 方 針

感染症予防を徹底すると共にご利用者、ご家族及び職員の体調変化等十分に確認しながら安全なケアを心掛けていきます。

#### ・特養・ショート

唐孔雀園は、利用者様の尊厳をまもり、安心して生活を送って頂く場所です。

私たち施設課職員は、利用者様個々の身体・精神状況に応じた質の高いサービスを提供し、利用者様が安心して生活できるよう支援を行っていきます。

令和 7 年度も利用者様が、日々安心して快適な日常生活を送っていただけるように思いやりの心を持ち、笑顔で温かみのある言葉掛けを行いながら、丁寧な介護を心掛け身体面・精神面の援助を行っていきます。

認知症の利用者様については、当園の認知症介護の理念に沿った援助を行うことにより、笑顔で安心して過ごしていただくことで、認知症の進行が緩やかになるように支援します。

科学的介護の推進や接遇マナーの向上に努め多職種連携を深めることにより、利用者様に対してより良いサービスが提供できるように、資質の向上に努めていきます。

#### ・デイサービスセンター

利用者様が可能な限り、能力に応じた役割をもって自立した日常生活を営むことができるよう支援するとともに、利用者様の意思や人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ったサービスを提供します。

市町村及び地域の各関係機関等と綿密な連絡と連携を図り、地域社会に貢献するサービスを提供します。感染症予防の水際対策を徹底し、利用者様が安全で安心できる施設環境づくりに努めます。

### ■桜 花 台 園

#### ○基本方針

職員全員が介護スキル・接遇マナーの向上に努め、利用者様により良いサービスを提供するとともに、地域密着型の施設としてそのノウハウを地域に還元していきます。同一建物内に在宅部門があるため、引き続き新型コロナをはじめとする感染症予防を徹底し施設に持ち込まない対策をとっていきます。

#### ・特 養

一人ひとりの状態により添ったユニットケアの基本である個別ケアを目指します。また、寝たきりや認知症、指定難病等、様々な病気のご利用者様へ適切なケアを実践し、本人、ご家族様にとって居心地の良い生活が送れるよう努めます。

入居者様、ご家族様が安心して望まれる生活を支えていくため、介護・看護・ケアマネ・管理栄養士・医師が連携し、統一されたケア、医療を提供できるようにしていきます。

#### ・ショート

在宅生活に合わせたケアを目指し、運動器具の充実化を図り、軽度者から重度者の方まで広く「桜花台園なら利用したい」と言われるように個別的関わりを重視し、利用者の趣向や楽しみを見出しメリハリのある生活が送れるように努めます。

在宅生活をご家族、サービス事業所、インフォーマルサービス、担当ケアマネージャー、主治医等と情報共有し、宿泊時に適切な介護が実施できるようにします。

#### ・小規模

利用者様の多様化するニーズに応えるため、小規模多機能の特性を生かし通い、宿泊、訪問 3 つの機能を適切にプランニングし包括的にサービス提供できるようにします。

感染状況を踏まえ、今年度は地域行事に積極的に参加する事、また南圏域の事業所、包括支援センターを協働し地域への働きかけ、介護フェスタなどに取り組みます

現在の生活環境をしっかりと把握しご利用者・家族の思いを知ること、住み慣れた地域で生活ができるように努めていきます。

#### ・看 護

入所者様、利用者様の重度化に伴い、疾病の管理や医療処置が多く求められている中、些細な変化の早期把握・早期対応により、重症化・重篤化を回避し、その人らしい健康な暮らしが維持できるように支援します。また、職員の心身状況を把握し、ストレスへの対応や疾患の早期治療を勧めていきます。今年度は特に職員も含めて感染予防に注力していきます。

### ■景福会栄養・地域配食課

#### ○基本方針

食を提供する専門職として、利用者一人ひとりの意向や問題点を細やかに把握し、個々人にあった効率的・効果的な栄養ケアの提供がより一層求められます。同時に唐孔雀園、桜花台園は生活の場でもあり、毎日の食事を楽しんでいただくために、献立作成から喫食までの一連の食事や食事環境(食事の盛付、食器、適温適時、衛生管理)にも、利用者様のニーズが反映できるよう努めていきます。

また、感染症の発生状況をみながら、食を通して地域支援の再開を目指します。